

原小学校コミュニティ・スクールだより



発行日：令和8年5月 22 日 〈NO.1〉

原小学校は、R5年度より『コミュニティ・スクール(以下CS)』としての学校運営をスタートして、4年目になりました。スタート当初にこのCSだよりにてCSについての基本的な説明をしましたが、丸3年が経過して保護者の皆様の顔ぶれも変わっていますので、ここで改めて『コミュニティ・スクールってなに?』についてお知らせしたいと思います。

コミュニティ・スクールってなに?



コミュニティ・スクールとは、学校・保護者・地域のそれぞれを反映させた学校運営を行う仕組みで、保護者・地域の代表・学識経験者などで組織する「学校運営協議会」を設置した学校のことをいいます。「地域に開かれた学校」から一歩踏み出し、原で「どのような子どもたちを育てるのか」「何を実現していくのか」という教育目標や課題等を保護者・地域の皆さまと共有し、一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へ転換していくことを目指しています。

学校と地域が共有する教育目標を達成するために取り組む活動を「地域学校協働活動」といいます。例えば、地域との結びつきの強い総合的な学習の時間(例えば、5年小倉神社フィールドワーク、3年車椅子体験、6年スクバン)や生活科(例えば、1年昔遊び交流、2年町たんけん)や他の教科等の教育課程(地域との結びつきが強いもの)もすべて地域学校協働活動に含まれますし、地域で行われている原夏祭りや原文化祭、安全ボランティアさんの活動もそうです。

また昨年度から本校には開設された「放課後子供教室」としてスタートした「交通安全自転車クラブ」と「STEAM教育クラブ」も地域学校協働活動に含まれます。

学校には窓口としてコミュニティスクール推進員として平井が、地域側の窓口として北岡地域センター長が地域学校協働推進員として位置づいており、常に連携をとっています。CS推進員が位置づいているのは東広島市だけです。



学校運営協議会の主な役割

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができる。
- 教職員の任命に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。

コミュニティスクール推進員の紹介

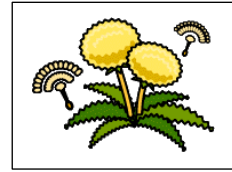
今年度もコミュニティ・スクール推進員として配置されています平井一之(ひらいかずゆき)と申します。原小学校の卒業生で、千野丸地域に住んでおります。地元住民としての利点を生かしつつ、原の子どもたちのために頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

令和8年度 学校運営協議会委員の紹介

・学校運営協議会委員

原財産区
原地区住民(元小学校長)
原地区住民(協農園)
PTA 総務部リーダー
原小学校前職員
原自治協議会子ども部会長
原地区住民
原もりあげ隊
原保育所長

渡辺 満 様
村田 真司 様
脇 伸哉 様
景山 多津栄 様
竹内 史雄 様
市川 啓展 様
佐々木 由紀子 様
今村 信一郎 様
渡辺 和歌子 様



・コミュニティ・スクール推進員

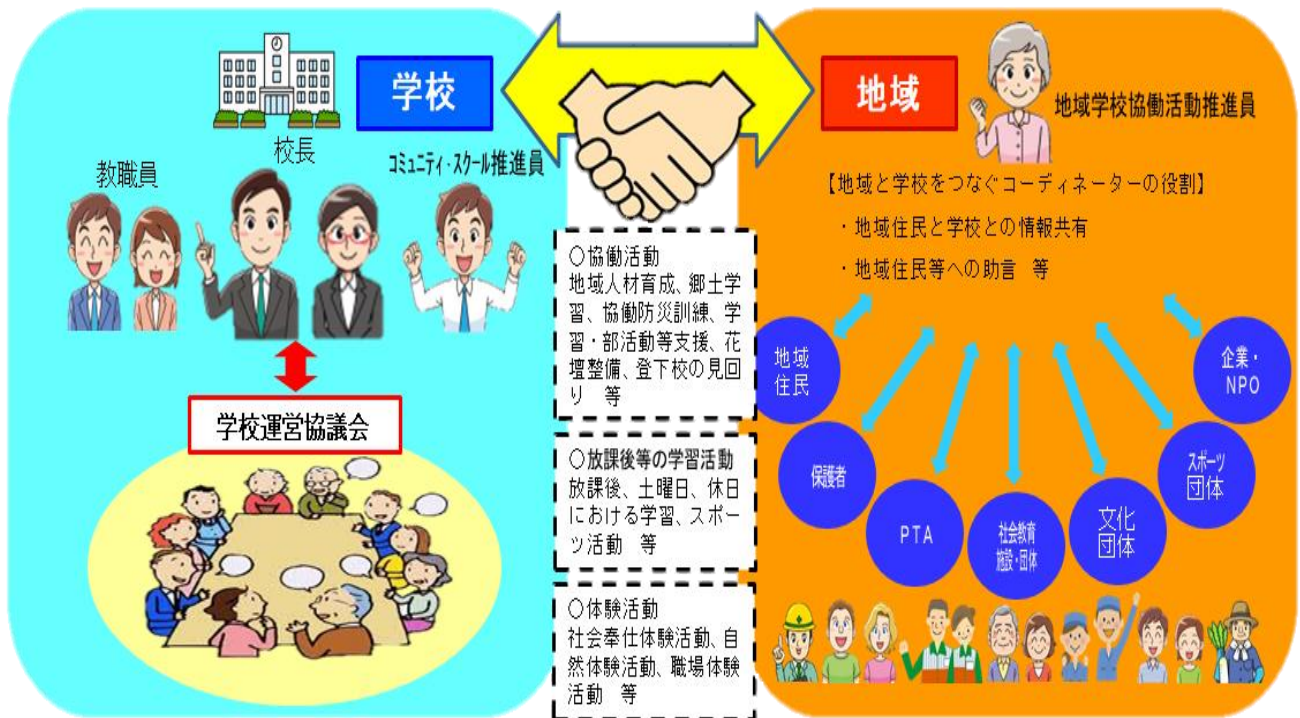
・地域学校協働活動推進員

- ・原小学校長
- ・原小学校 教頭

平井 一之
北岡 学 様
神重 修治
坂本 真奈美



〈「学校」と「地域」の連携・協働のイメージ図〉



コミュニティ・スクールに欠かせない3つの機能

協働

「熟議」の実施を通して、学校と地域の信頼関係の基礎を構築した上で、学校経営に地域の人たちが「参画」し、共通の目標に向けて活動していく。

熟議

子どもたちがどのような課題を抱えているのかという実態を共有するとともに、地域でどのような子どもを育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンを共有するために「熟議(熟慮と議論)」を重ねる。

マネジメント

学校は、校長のリーダーシップのもと、目指すべきビジョンの達成に向かって、学校内の組織運営を管理するとともに、地域との関係を構築し、地域人材や資源等を生かした学校運営を行っていく。